第４号様式（第８条関係）

議　事　録

会議名	第２回寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議		
開催日時	平成29年9月29日（金曜日）10：00～12：00		
開催場所	寒川町役場　東分庁舎２階 第１会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	出席委員：三澤委員（委員長）、中間委員（副委員長） 椎野委員、小黒委員、安藤委員、浅野委員 佐藤（敬）委員、中澤委員、佐藤（い）委員（9名） 事務局：亀山福祉部長 鈴木福祉部参事兼高齢介護課長 仲手川副主幹、青木副主幹 前田主任主事、後藤主任主事 社会福祉協議会：稲葉生活支援コーディネーター 傍聴者数：なし		
議　題	1. 生活援助型の介護予防訪問型サービスについて 2. 生活支援コーディネーターについて 3. 今後の予定について 4. その他		
決定事項	訪問型サービスBについては、現状での実施は難しいが、今後も検討を続ける。 訪問型サービスAの委託については、シルバー人材センターに対して事務局からその意向を、再度確認する。 また、第７次計画期間中の総合事業の訪問型サービスについて、一度各団体が持ち帰って検討し、10月16日に再度会議を行う。		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	＜議事前段の進行＞ ○あいさつ ＜ここから議事＞ ***議題1　生活援助型の介護予防訪問型サービスについて*** 事務局：【資料１及び参考資料１、２、３を用いて説明。まず、		

	参考資料１で、議題の確認と寒川町における訪問系のサービスを説明。続いて、前回の会議で要望があり、実施をした意見集約シートの結果について、資料１で説明。最後に、参考資料２と３で、県内他市町村の総合事業における多様なサービスのうち、訪問型サービスの実施状況と、サービス類型の実施例について紹介】 三澤委員長：只今、事務局からの説明があった。それぞれの類型について、話をしていきたい。 まずは、訪問型サービスＡの委託については、どうか。シルバー人材センターなどはどうか。 熊本の荒尾市さんの事例なども見てみると、従事されるヘルパーさんへの報酬が1回で1,000円。最低賃金が700円程度だとしたら、これはやり甲斐もあるように思う。 浅野委員：働きたいという気持ちの高齢者の方は、今、多いと思う。年を重ねても、入ってくるお金がある、というのは大きいと思う。私もボランティアセンターでの勤務が長かったため、対価で金銭を取ってという考えとは縁遠かった。だが、働く高齢者が生きがいをもって従事し、その対価でさらに自分の楽しみをというのは良いと思う。 安藤委員：シルバー人材センターの会員は皆、元気がある。だが、会員募集をしているが、これが中々増えない。入ったはいいが、自分の考えていたものと違う、とやめてしまう人もいて、難しい。 三澤委員長：仕事の種類が増えることで、解消できないだろうか。この仕事がダメなら、この仕事で、といった具合に。やはり、皆、現金は欲しいと思う。 中間副委員長：私もシルバー人材センター理事をやっているが、事業拡大というのは常に考えている。他市町村がどんなことをやっているのか、ということについても見学などもしている。男性会員は、植木剪定やはんだ付けなど、若いころに覚えた技術を活かした仕事をしたい、という人が多い。女性会員は

	なかなか仕事が少ない、という話も聞いているので、訪問型サービスのような仕事もよいのかもしれない。 三澤委員長：女性会員の方も、働きたいという人が増えてくると思う。調理や洗濯なども、主婦としてずっと行ってきているので、期待をしたい。 中間副委員長：シルバー人材センターとしては、すぐに実施というのは難しいので、まずは、やっている他市町村を見学、という流れがよいと思う。今までの考え方などもあるので、そこはじっくり進めていくことになると思う。 三澤委員長：今後、介護保険のサービス費は増大する一方なので、シルバー人材センターとしても検討をしていただけるようにお願いしたい。事務局としては、シルバー人材センターに対して、もう一度、その意向を確認していただけるようにお願いしたい。 三澤委員長：続いて、A型の指定についてはいかがか。指定については、実施するべき、という意見が多かったが、どうか。 浅野委員：実施するべき、という回答はさせていただいたが、どのような方法で、また、時期がいつから、といったことが見通せないまま回答をさせてもらった。他市町村での取り組み事例は出していただいたが、今時点では、それ以上の意見は出づらい。 三澤委員長：実施については、やるかやらないかで考えたら、それは実施するべき、とは思って意見を出したが、どのように、と具体的なものは出ないように思う。やっている市町村を見ながら、としか現状では言えないと思う。 事務局：事務局側の都合で大変申し訳ないのだが、現在、第７次の介護保険事業計画を策定する作業を行っている。平成３０年度から平成３２年度までを見越した計画であり、そこ期間において、これらのサービスの有無が関わってくる。

	三澤委員長：せっかく、今は色々な意見が出て、これから協議をしていこうという状況。計画については、検討を進める、といった記載ではどうか。 事務局：高齢者の伸びなども考えると、早めに手を打つ必要がある、と事務局では考えている。準備期間なども考えると、もう少し、何がしかの方向性については結論をいただければと思う。 三澤委員長：やはり、やらなくていい、とは言えないと思う。しかし、今回、ここで説明を受けて、各委員、すぐには意見も出てこないところもある。第７次計画についての訪問型サービスＡの指定を含めた、多様なサービスの実施については、時間をおいて再度話し合う必要があるのではないか。 事務局：再度、話し合うとなれば、もう一度話を整理して、改めてということで資料を作成させていただく。スケジュールとしては計画検討委員会との関係もあるので、10月16日（月）、再度集まっていただくということでよろしいか。 三澤委員長：それでお願いしたい。実際、介護保険事業で訪問介護を運営していても、他のサービスと比べても働き手の確保が難しい。訪問型サービスＡについては、指定制度で行う場合は、雇用される人間が果たして集まるのか、という不安がある。そのため、シルバー人材センターなどで女性が調理や掃除などの仕事に就いてもらえれば、という思いはある。 事務局：では、多様なサービスの実施については、基本、検討を継続する、ということであるが、第７次計画期間中については、どうするのか、ということを次回、確認させていただきたい。 三澤委員長：では、最後、訪問型のＢについてはいかがか。ボランティア団体さんなど、どうだろうか。他市町村の補助金の事例など紹介してもらったが。

	浅野委員：ボランティアセンターのサポートさむかわとしては、日頃から、シルバー人材センターと連絡を取り合いながら、進めている。Ｂ型のやり方に近いところはあると思う。 ただし、ボランティア連絡協議会が、連絡調整をしてということは難しいと思う。 小黒委員：ボランティア連絡協議会は、各種ボランティア団体の集合体であり、それをマッチングや調整などになると難しい。 三澤委員長：それぞれが得意な部分を活かして、というような活躍はどうだろうか。 小黒委員：社会福祉協議会が行っているサロンなどの手伝い、などであればイメージはつく。ただ、前にも出た話だが、自分たちの団体での、元々の活動があるので、それがあったうえで、さらに調整して、といった形になる。 三澤委員長：にんじんの会などはどうだろうか。 浅野委員：にんじんの会の栄養士さんなどは、栄養士さんとしての仕事をしていて、そこからのボランティア。まず、普段の生活や仕事があり、その合間を縫ってのボランティア、となっている。 また、総合事業等のアンケートが来るたび、個人としては協力できるかもだが、団体としては、というようなところもある。やりたい、という気持ちがないわけではないので、有志を集めて総合事業のＢ型を行う新しいグループを作ったほうが、活動はしやすいのかもしれない。 小黒委員：ボランティアをしていると、なかなか新しいことは時間がない。私もなにかやりたいな、と思い、シルバー人材センターなども考えたが、時間がない。そのため、町がやっている、シニアげんきポイントで、週１回空いた時間でお手伝いをしている。１日びっしり、というよりも、空いた時間で、とい

	うような方を集めるような方がうまくいくと思う。 三澤委員長：団体でＢ型を、となると、まとまった話になると難しい。個人個人でこの人は、という人をピックアップして、そういった人をまとめていくのがいいのではないか。 これについては、7 次計画中にという話にもならないと思うので、ゆっくりと検討していきたいと思う。皆さんよろしいか。 一同了承 ***議題2　生活支援コーディネーターについて*** 事務局：【7月から生活支援コーディネーターの配置を行った胸を説明】 稲葉コーディネーター：【資料２、参考資料１、４から、生活支援コーディネーターの仕事内容及び7月、8月活動実績について説明】 三澤委員長：生活支援コーディネーターのデスク配置場所は、社会福祉協議会でいいのか。役場内に置いた方が情報量なども多いのではないだろうか。 稲葉コーディネーター：今回の委託事業が、社会福祉協議会へとのことなので、本年度は社会福祉協議会内にデスクを置いている。他市町の生活支援コーディネーターの状況を調べたり、情報交換をしたりしているのだが、やはり、市町村の規模によって様々。 浅野委員：行政的な情報は、確かに役場内の方が集まるかとは思うが、実際のボランティア団体などの情報などは、社会福祉協議会で集まるとは思う。 三澤委員長：シニアげんきポイント事業の委託先も、社会福祉協議会であるので、そこに集まる人などから、社会資源としてＢ型に繋ぐ、等の動きをコーディネーターに期待したい。 生活支援コーディネーターには、各委員からも気になった情報

	があれば、それを流していけるようにしていただきたい。 稲葉コーディネーター：本年度の目標は、まずは情報収集。寒川町における現状を確認して、それを見える化していく。皆さんとしても何かあれば情報提供をいただければと思う。 三澤委員長：社会資源のリストアップがされれば、介護保険のケアマネジャーなども、どこまでどうすれば、といったことが、すぐわかったり、民生委員さんも何をどうすれば、ということがわかるので、その負担なども減るような取り組みを期待したい。 稲葉コーディネーター：生活支援コーディネーターはまだ動き始めたばかり、委員の皆さんからも、こういったことをやってみたらどうだろうか、というのがあれば言っていただければこちらも動きやすい。 事務局：この推進会議と生活支援コーディネーターは両輪となっている。今後とも、協力をいただければと思う。 ***議題3　今後の予定について*** 事務局：【今後の予定について説明】 ・次回は10月16日（月）に第７次計画中の総合事業の多様なサービスについて検討を行う。 ***議題４　その他*** 三澤委員長：皆さんから、何かあればお願いします。 中間副委員長：寒川町シニアクラブ連合会が、全国老人クラブ連合会の会長賞と活動賞をダブル受賞した。会長賞は、越の山が生活支援、買い物支援をやっていることに対して。活動賞に対しては体操教室、高齢者スポーツ大会などを実施していることに対して。２つの賞を同時というのは珍しいということ。京都で表彰式があるが、自費でいかなければならないのが大変。 　また、先日、藤沢、寒川、茅ケ崎、伊勢原で行う、湘南Ｂブロックという集まりがあるのだが、そこで脳トレをタブレット

	で行う講座を受けた。タブレットを利用した取り組みというのは、指先も使うし、考えながらやるし、とても興味深かった。 事務局：【平成２９年度の介護予防事業の実績について、資料３より説明】 中間副委員長：今年度、開始した元気はっけん広場、とても人気だと聞いている。口伝で、「いいよ」となると人が集まる。また、介護予防講師派遣事業については、私は中瀬で１回、筒井で１回、利用した。参加者は満足しているが、まだ、制度自体が知られていない印象がある。良いものについては、やはり口コミで広がっていくと思う。 *（閉会）* ○副委員長挨拶　中間委員
配付資料	配布資料 資料１　生活援助型の訪問型サービス検討シート結果 資料２　寒川町生活支援コーディネーター月次報告書（７月分、８月分） 資料３　一般介護予防事業の実績（平成２９年８月まで） 参考資料１　生活援助に関するサービスの分布図 参考資料２　神奈川県内市町村の訪問型サービス実施状況 （各市町ＨＰより 9／11 時点） 参考資料３　訪問型サービスについて　他の市町村の事例 参考資料４　生活支援コーディネーター配置事業仕様書

議事録承認委員及び議事録確定年月日	安藤　文夫 、浅野　瑠水（平成２９年１０月３１日 確定）